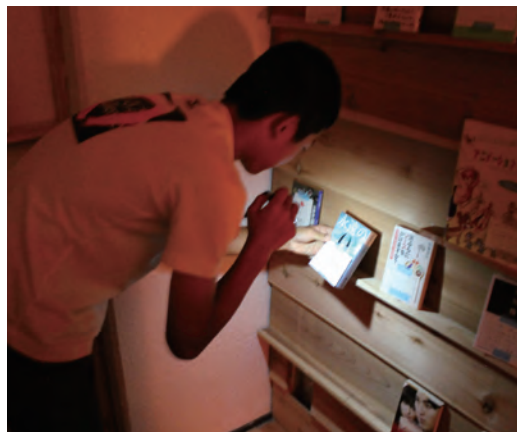


暗やみ本屋ハックツの活動

東京・上石神井に佇む10代しか入れない本屋さん。中に入ると、真っ暗。10代の若者は、懐中電灯を片手に暗やみの中にあるメッセージつきの本を手にとっていた。ユニークな形で若者への読書推進を行う任意団体「暗やみ本屋ハックツ」の活動をご紹介します。

暗やみ本屋ハックツとは

暗やみ本屋ハックツは、地域の大人から寄贈された「10代のうちに読んでおきたい！」本を、19歳以下の若者がハックツ（発掘）する古本屋さんです。都内では上石神井駅の近くの本屋さんの一角で、月に一度定期的にイベントとして開催しています。ハックツに入った若者たちは、真っ暗やみの店内で懐中電灯を片手に、洞窟の中で宝探しをするように、読んでみたい本を探していきます。本には一冊一冊、寄贈された方からのメッセージが貼られており、若者たちはそのメッセージにも感性をはたらかせながら、心が動いたものを1冊100円で購入できます。これから大人になる若者たちの生き方を広げる「場所」と「機会」の提供をしています。



運営スタッフの想い

代表 宮本 明里さん



暗やみ本屋ハックツは、「若者にはいろんな大人と時間を共有することが大切なのではないか」という想いから、新潟のとある本屋さんが始めた取り組みです。今では大阪や長野など各地にも広がっています。私は、「家庭でも学校でもない、第三の居場所をつくりたい」という想いがとても強くあります。地域の中に、「若者たちの居場所をつくりたい」という想いがあるから、この活動を続けています。そして、その居場所は、「場所」だけではなく「人」でも良いと思っています。地域の中でとても大切な大人をつくることができれば、若者にとっても価値のあることだと思います。

暗やみ本屋ハックツが、コミュニケーションをとるきっかけや、若者と大人が出会うことができる機会であればいいなと思っています。

運営スタッフ 原 奈々美さん



なぜ19歳以下限定かという、「10代のうちに自分の感性を使って選んで、自分のお金を使うという経験をしてほしい」と思っているからです。暗闇の中で懐中電灯の明かりだけを頼りに、自分の欲しいものを探すという経験は、自分の感性を使って探さないと「これだ!」というものには当たりません。値段ではなく、自分で選ぶということを価値にしてほしいです。

ボランティア高校生スタッフ

暗やみ本屋ハックツが大好きになり、ボランティアスタッフとして一緒に運営のお手伝いをしている若者もいます。



スタッフの仕事は、本棚の設置、本を並べるなどの準備や、受付、チラシ配りを担当します。私は、本並べているときが一番楽しいです。他の本屋さんでは「見ることのできない」コメント

を見ながら、「こんな本なんだ」と感じながら並べています。



「10代のうちに読んでおきたかった!」本を発掘できる!

暗やみ本屋ハックツ

場所 〒177-0044 東京都練馬区上石神井 1-6-12 ブックスタマ上石神井店 会議室内
営業日 毎月第1土曜日 11:00 ~ 17:00 (最終受付 16:30)
WEB <http://www.hakkutsu.info>